

「目標はインターハイ」 県大会優勝者は次のステージへ



棒高跳び競技者

篠原 わかなさん(樋口)

Wakana Shinohara

キラリ東温この人なう No.74

地域で輝く人にインタビュー

「上を見て棒を持つ手より足を上げるのがコツです」笑って答える篠原わかなさん(重信中3年)。昨年8月に行われた第66回全日本中学生通信陸上競技愛媛県大会の棒高跳び種目で3mを跳び優勝を果たしました。篠原さんと競技との出会いは「通っているクラブの指導者に『競技者数が少ないから簡単に上位にいけるよ』と言われたから(笑)」と話します。陸上部でも棒高跳びをしているのは自分だけ。そんな中でも努力を続け、中学2年生時の記録は2m60cm。3年生では2m80cmと記録を着実に伸ばしてきました。そして挑んだ最後の大会。「肉離れが治りかけの状態でした。中学3年間で3m以上を跳ぶことを目標にしていたので、クリアできて嬉しかったです」と大会を振り返ります。顧問の清家先生は「真面目で努力家」と篠原さんを称えます。篠原さんは「高校での目標は、陸上部に入って棒高跳びでインターハイに出場すること」と、もう歩き始めています。

編集後記

毎年開催される愛媛県広報コンクールで、10月号が特選をいただきました。さらに8月号表紙写真も特選のダブル受賞！11月号の組写真は入選！取材させていただいた皆様ありがとうございました。より良い広報誌になるようさらに精進してまいります。(小出)

新年早々白猪の滝に落ちました。でも！たくさんの方に「滝に落ちてた方ですか？」と声をかけてもらったり、広報とうおんが特選をいただいたり、滝に落ちてから嬉しいことが大渋滞です！良い1年になりそうです。(池川)

目次 Contents

02_特集 20年のありがとう/06_スイッチとうおん/08_スイッチとうおん特別版 氷の芸術/10_子育てガイド/12_特集2 笑いとぼして/16_ふれあい広場/20_情報BOX/23_山瀬理恵子のアス飯/24_さくらの湯でRefresh Day/26_暮らしのカレンダー/28_キラリ東温この人なう